

学会名	期日・場所	発表題目	内容
令和元年度中国地区大学書道学会	令和元年12月 (KKR広島)	書写における「主体的で対話的な学び」	既習事項を活用して、主体的で対話的な授業方法の実践研究
平成30年度中国地区大学書道学会	平成30年12月 (くにびきメッセ・島根)	書写における「主体的で対話的で深い学び」	既習事項を活用して、主体的で対話的な授業方法の実践研究
平成26年度中国地区大学書道学会	平成26年12月 (香川)	「曲がりの方向」に関する指導	曲がりの方向の原理原則を学習者に発見させ、定着させる授業方法の開発
平成25年度中国地区大学書道学会	平成25年12月 (ホテルモナーク鳥取)	「左払いの方向」に関する指導	左払いの方向の原理原則を学習者に発見させ、定着させる授業方法の開発
平成24年度中国地区大学書道学会	平成24年12月 (サンラポーむらくも・島根)	「三つの部分の組立て方に関する指導」	三つの部分の組立て方の原理原則を学習者に発見させ、定着させる授業方法の開発
平成23年度中国地区大学書道学会	平成23年12月 (梅光学院大学・山口)	「教職員の研修に関する考察」	学習者の思考力、表現力、判断力を育成するために書写教育の中に言語活動を取り入れた指導の在り方についての研修の持ち方
平成22年度中国地区大学書道学会	平成22年12月 (広島大学附属広島中高等学校・広島)	「国際理解教育と書写教育」	JICA教育協力として日本の文化の体験授業を実施した4年間の実践発表。書写に対して劣等感を持たせない実践を応用している。
平成20年度中国地区大学書写書道学会	平成20年12月 (鳥取大学)	「思考力を育てる書写教育」	比較分類することで書写の原理原則を発見させる「思考力を育成する書写授業の方法」について実践事例をまとめて発表。加えて国語科書写教材をデジタル化することのメリットについても提起した。
平成17年度中国地区大学書道学会	平成17年12月 (安田女子大学・広島)	「読むこと」「書くこと」に生きる書写授業の提案 ーこれからの書写教育カリキュラムの開発のためにー	(上記の1・2)全国学会で発表した3年計画の研究発表について、1年目と3年目は全国学会で報告したが、2年目の中間報告については中国学会で報告した。
平成16年度中国地区大学書道学会	平成16年10月 (比治山大学・広島)	「教員における書写研修の在り方」	尾道教育研究会国語科書写部会の年間活動(研修)の概要と書写研修会の実施報告。旧免許法により大学において書写の単位未履修の教員が市内に78%もいる課題点解決に向けて三つの市町合同による書写実技研修会を企画した。その教員研修会の成果と課題をまとめて発表する。
平成15年度中国地区大学書写書道学会	平成16年1月 (米子ワシントンホテルプラザ・鳥取)	「新教科と書写教育」	文部科学省指定教育開発学校の実践から新教科である「郷土科」を特設し、郷土学習の表現方法の一つとして書写教育と連携を図った実践研究発表。小学校三年生の郷土科の内容である「寺の町尾道」について尾道の代表的な寺の特徴を調査し、感じたことを国語科と連携して俳句で表現した。

平成14年度中国地区大学書写書道学会	平成14年10月 (サンラポーむらくも・島根)	「総合的な学習と書写教育～総合的な学習に向けての一試行Ⅲ～」	総合的な学習(福祉体験学習)を基に学習のまとめとして感じたことを俳句や詩に表現した。その俳句や詩を毛筆で表現した「福祉ふれあい書道展」を地域のスーパーマーケットを会場に開催することで「優しさ」について地域に訴えた実践研究発表。
平成13年度中国地区大学書写書道学会	平成13年12月 (KKR広島)	「総合的な学習にむけての一試行Ⅱ」	総合的な学習と国語科書写との連携を図った実践研究発表。総合的な学習で「地域の歴史学習」について地域の方から教えてもらい、「環境学習」についてはリサイクル和紙作りについて体験をもとに地域の方に発表した。「歴史学習・環境学習」のまとめについては国語科と連携し、リサイクル和紙に毛筆で言葉を書く活動は国語科書写と連携した。
平成12年度中国地区大学書道学会	平成13年1月 (メルパルク広島)	「総合的な学習にむけての一試行」	学習指導要領の改訂に伴って新しく創設された総合的な学習と国語科書写との連携を図った実践研究発表。手書き文字の良さに気がつくことで自己の発見を達成する実践。
平成11年度中国地区大学書道学会	平成12年1月 (岡山大学)	「源氏物語の人と書」	源氏物語の登場人物の筆跡と性格の関連性について論じている。修士論文にまとめたことを中心に発表する。